

経営改善支援の実績にかかる個別事例の公表について

富 山 信用金庫

当金庫が日頃取組んでまいりました経営改善支援のうち、業況の改善効果が見られた事例や、地域の皆さまにとって有用と考えられる事例について公表致します。

事例 1)

| | |
|--|-------|
| 経営改善支援先企業の概要 | |
| ・業種 | 製造業 |
| ・企業規模 | 中小企業者 |
| 経営改善支援前の企業の状況 | |
| ・ 当社は、売上高及び利益率の遞減傾向が止まらず収益状況が悪化していた。また、グループ会社に対して資金提供（研究開発・設備投資等）を行っていたが、グループ会社全体をみても長期に亘り赤字決算を計上していた為、一部不良化し、当社財務内容・資金繰りを圧迫していた。 | |
| 経営改善支援概要 | |
| ＜当金庫の施策＞ | |
| ・ 当金庫では、当社の利益率改善のため合理化・効率化が不可欠と考え、中小企業再生支援協議会等と連携して内部管理態勢等の再構築のための再生計画を策定しました。 営業体制の確立・・・社長等によるトップセールスと専用営業マンの育成 利益体質の確立・・・不採算部門撤退、生産管理徹底、適正な人員配置と効率化 財務体質の強化・・・上記 によるキャッシュフローの増加、D D S・リファイナンス・リスケジュール等による資金繰りの安定化 | |
| ＜当該企業の施策＞ | |
| ・ 短期的な取組み・・・ 営業力を強化し受注の拡大、 生産の合理化を図り製造原価の大幅削減、 工場の効率化を図り採算の改善を図った。 ・ 中期的な取組み・・・収益力の強化を図り、ハード中心からソフト・サービスを提供できる特色ある企業を目指す。 ・ 財務の再構築・・・ 不要不良資産を売却し、新経営陣（代表者交代）や従業員等による増資を実行することによる資本の充実を図りました。また、グループ会社の再編（合併等）を実施しました。 | |
| 経営改善支援後の企業の状況 | |
| ・ 上記の結果、売上高は順調に増加傾向にあり、財務体質も強化されキャッシュフロー・利益率改善等に寄与している。また組織営業体制の改善、従業員の意識改革も図られてきております。 ・ グループ会社全体についても、経営資源の集中が図られ、収益が改善していくことが見込まれます。 | |

事例 2)

| | |
|--|-------|
| 経営改善支援先企業の概要 | |
| ・業種 | 製造業 |
| ・企業規模 | 中小企業者 |
| 経営改善支援前の企業の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社は、金属製品を製造加工しており、技術力には一定の評価を得ているが、採算を考慮せず受注増を目指したため、資金繰りにも影響がでてきた。 | |
| 経営改善支援概要 | |
| <p>< 当金庫の施策 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者に対し、計数管理の重要性について指導し、収支計画の策定への助言と経営改善策の提案を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 収益計画の策定・・・採算性・受注安定化等の観点からの受注見直し・過去取引先の掘り起こし指導、部門別収支計画・実行計画書・計画差異分析・修正計画準備等助言 財務体質強化・・・経理担当者への計数管理助言、資金繰り安定化指導 | |
| <p>< 当該企業の施策 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当初は消極的な面もありましたが、後継者を交えての討議検討に加え、当金庫からの指導・助言の真意・効果等についての数回に亘る説明等を経て、全従業員一体となって、採算性を考慮した積極的営業・経費節減等に取り組みました。 ・ 不採算製品の製造を廃止し、製品別利益率等の計数管理導入。 | |
| 経営改善支援後の企業の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ でき得る限りの経費節減、採算性を考慮した積極的営業による営業力強化、収支計画の実行管理等により財務体質は強化されております。 ・ 現状の努力を継続し、将来的な設備投資も視野に入れ、安定的な収益の確保・計数管理の高度化等を目指していく。 | |